

日本統計学会第58回大会

日本統計学会の1990年度(第58回)総会および研究報告会は、7月25日(水)から27日(金)までの3日間にわたり、札幌大学工学部(札幌市北区)において開催された。

各部会のうち人口に関する報告は次の通りであった。

- 社会・人口統計 〈座長〉 竹内 清 (石巻専修大学・経営学部)
1. J. P. Süßmilch と L. A. J. Quetelet との
学問的つながりについての批判的研究(その3)……………飯淵 康雄(琉球大学・医学部)
 2. 中年死亡増加現象と世代及び地域生命表……………大久保正一(日本大学・人口研究所)
 5. 継続調査から何がわかるか
——「中流意識」の規定要因の分析を例に——……………坂元 慶行(統計数理研究所)
 6. 社会移動データの解析……………石黒真木夫(統計数理研究所)
坂元 慶行(統計数理研究所)
 7. 官庁統計の普及の現状と問題点……………三浦 由己(日本統計協会)
 8. 歴史統計に適用した異時点間の産業分類の自動変換……………有田富美子(東洋英和大学)
木村 健二(農業工業大学・教育学部)
- 地域分析と統計利用 〈オーガナイザー〉 是永 純弘 (北海道大学・経済学部)
〈座長〉 是永 純弘 (北海道大学・経済学部)
黒田 重雄 (北海道大学・経済学部)
1. 都市における統計作成と利用の現状——宇都宮市を例に——……………山口 直人(宇都宮市役所)
 6. 高齢化指標からみた地域別高齢化の進行状況……………川崎 茂(総務庁統計局)
斎藤 昭男(総務庁統計局)
 7. 北海道の人口動態……………岡田 正樹(北海道庁)
田口 栄治(北海道庁)
是永 純弘(北海道大学・経済学部)
 8. 北海道における失業統計……………岡部 純一(北海道大学・経済学部)
園 信太郎(北海道大学・経済学部)
- 医学・生物学統計 〈座長〉 山本 英二(岡山理科大学・理学部)
6. 複合ゴンペルツ・モデルによる生命表の解析……………冨塚 孝(大阪公衆衛生研究所)
- 多変量解析の新展開 〈オーガナイザー〉 岩崎 学(防衛大学)
〈座長〉 岩崎 学(防衛大学)
5. ACEによる暦年別・年齢別死亡率データの解析……………大瀧 慈(広島大学・原爆医学研究所)
金 東奎(広島大学・原爆医学研究所)
務中 昌己(広島大学・原爆医学研究所)
田崎 武信(塩野義製薬)
後藤 昌司(塩野義製薬)
- (白石紀子記)